

「水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく 太田川流域の減災に係る主な取組状況

令和2年6月9日

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

（ 広島市、府中町、安芸太田町、広島県、
広島地方気象台、国土交通省中国地方整備局 ）

減災のための目標

● 5年間で達成すべき目標

太田川水系河川整備計画に位置づけられる事業の早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、地域別の氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。

- ※大規模水害 ……想定最大規模の降雨等による洪水氾濫による被害
- ※逃げ遅れ ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態
- ※社会経済被害の最小化 ……大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■ 上記達成に向けた4本柱の取組

1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
2. 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
3. 浸水を一日も早く解消するための対策
4. 温井ダムの効果的・効率的な運用

概ね5年で実施する取組

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

主な取組項目	目標時期
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組	
■ 1 洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
○ 堤防整備(浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)	【順次実施】
○ 高潮整備	【順次実施】
■ 2 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	
○ 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備	【平成30年度実施】
○ 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備	【順次実施】
○ 河川のリアルタイム映像の提供設備の検討	【平成30年度実施】
■ 3 洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等	
○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図の作成・公表	【平成28年度から検討実施】
○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	【平成29年度から検討実施】
○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等の発令基準の見直し	【平成29年度から検討実施】

概ね5年で実施する取組

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

主な取組項目	目標時期
○ 各市町が管理する避難所の収容人数等を共有し、隣接市町村との連絡体制の構築	【平成30年度から検討実施】
■4 多様な防災行動を含むタイムラインの作成	
○ 河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定	【平成28年度から検討実施】
○ リアリティのある水防訓練の実施	【平成28年度から検討実施】
■5 防災教育や防災知識の普及	
○ 堤防決壊時、越水時の流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	【平成28年度から検討実施】
○ 「川の防災情報」や地上デジタル放送の活用促進のための周知	【平成28年度から順次実施】
○ 出前講座等を活用した防災教育の実施	【平成28年度から順次実施】
○ 気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善	【平成29年度から順次実施】
○ スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	【平成28年度から検討実施】
○ 住民向けの防災ポータルサイトの構築	【平成28年度から検討実施】
○ 住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報の提供	【平成30年度から検討実施】

概ね5年で実施する取組

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

主な取組項目	目標時期
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動	
■1 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	
○ 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する水位計の整備(再掲)	【平成30年度実施】
○ 洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備(再掲)	【順次実施】
○ 河川のリアルタイム映像の提供設備の検討(再掲)	【平成30年度実施】
○ 防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設の検討	【令和2年度】
■2 水防活動の効率化及び水防体制の強化	
○ 水防管理者等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	【平成28年度から定期的に実施】
○ 太田川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について水防管理者等や地域住民が参加する合同点検の実施	【平成28年度から定期的に実施】
○ リアリティのある水防訓練の実施	【平成28年度から検討実施】
○ 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	【平成28年度から順次実施】
③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水活動の取組	

概ね5年で実施する取組

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

主な取組項目	目標時期
■排水計画の作成及び排水訓練の実施	
○ 排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成	【平成29年度から検討実施】
○ 排水計画に基づく排水訓練の実施	【平成30年度から検討実施】
④温井ダムの効果的・効率的な運用	
■温井ダムの効果的・効率的な運用	
○ 事前放流及び特別防災操作(適応操作)を的確に実施	【事前放流(H19年度から運用開始)及び特別防災操作(適応操作)(H25年度から運用開始)を運用中】

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

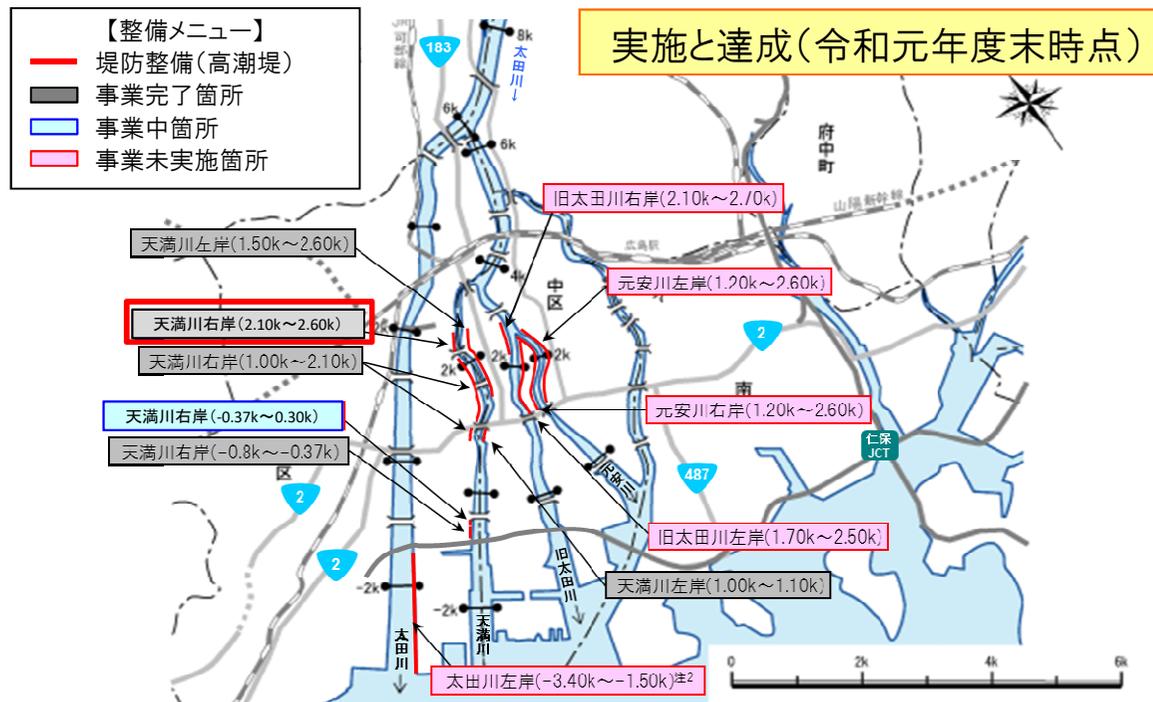
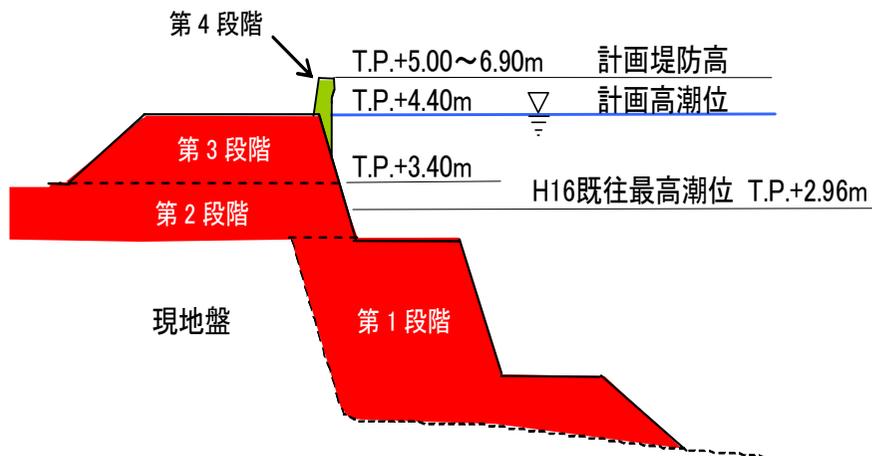
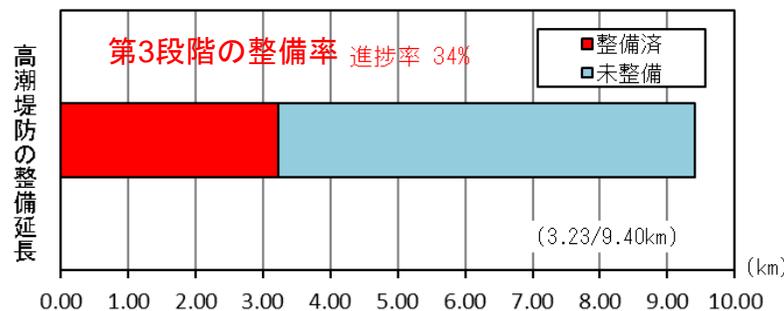
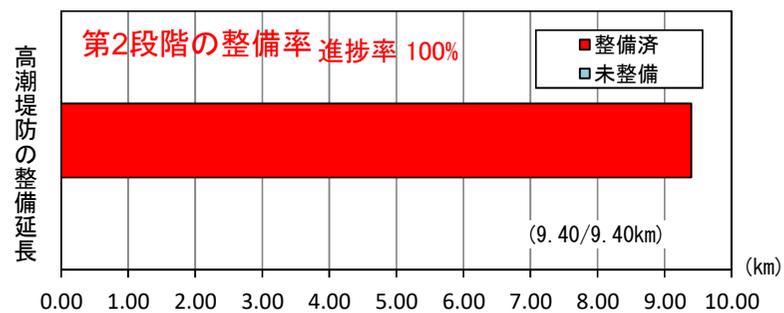
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

中国地整

○ 堤防整備 (浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)

○ 高潮整備

下流デルタ域においては、盛土施工後の圧密沈下を考慮し段階的な高潮堤防の整備を実施している



天満川右岸施工状況(広瀬橋上流)



天満川右岸施工状況(広瀬橋下流)

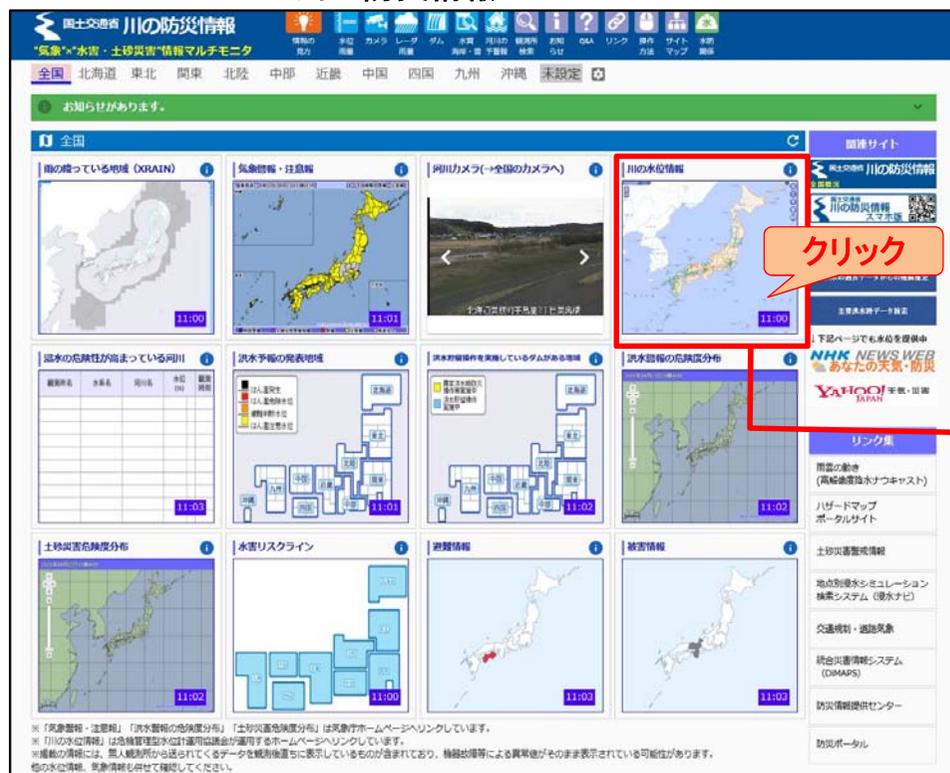
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

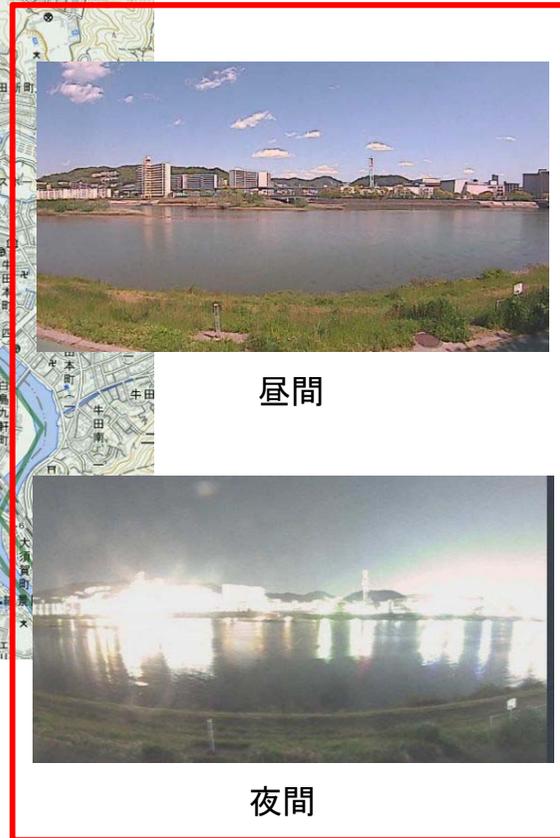
○ 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備

洪水時など水位が高くなった場合に視覚的に水位の状況を確認できるように、簡易型のカメラを設置した。これにより、危機管理型水位計と合わせて、河川の水位がきめ細かく確認できるようになり、住民自ら避難する際の判断材料として活用することが可能。(太田川国管理河川:58箇所)

川の防災情報のWEBページ



令和元年度完了



川の水位情報 WEBページ

※10分間隔で静止画像が配信されます。

カメラ表示例

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

広島市(各区)

○ 河川のリアルタイム映像の提供設備の検討

河川のリアルタイム映像の提供⇒太田川水系において、自主防災組織が設置する防災ライブカメラの設置支援

防災情報サイト

広島市防災ポータル

災害に備える | 自主防災組織 | 防災まちづくり事業 | 広島市の取組 | 危機管理・防災に関する計画・会議 | よくある質問

防災ライブカメラについて

過去に土砂災害や洪水の発生したことがある地域や、地域で懸念している危険な場所を安全な場所からスマートフォン等で確認できる防災ライブカメラの設置を支援します。

防災ライブカメラ一覧

行政区	小学区	審判	設置場所	カメラ名
東	上島区	上島各地区自主防災連合会	西十九日丸字橋	02000_fuchukawa<外部リンク>
東	福品	福品学区自主防災連合会	西十九日八幡橋	02000_fuchukawa<外部リンク>
西	孝志	東洋町内会自主防災会	東洋橋御前日	84901_miyukigawa<外部リンク>
安芸南	大塚	大塚小学区自主防災連合会	大塚川大塚橋	85992_ozukigawa<外部リンク>
安芸北	口鼻南	上河口自主防災会	上河口川御殿橋	06602_yagachi<外部リンク>
安芸北	口鼻南	上河口自主防災会	口鼻南三丁目川	06602_yagachi<外部リンク>
安芸北	口鼻南	中川自主防災会	口鼻南三丁目川	86003_odagawa<外部リンク>
安芸北	口鼻南	上河口自主防災会	口鼻南九丁目川	86004_kuchiki<外部リンク>
安芸	徳野	徳野自主防災会	徳野町丁御前日	87001_fuchikawa<外部リンク>
安芸	上野野	清山自主防災連合会	大元谷川清山橋	07862_omakotani<外部リンク>
安芸	矢野	矢野町自主防災連合会	矢野南六丁目川	83992_kamawaki<外部リンク>
安芸	矢野	矢野町自主防災連合会	矢野川神橋	07064_yanagawa<外部リンク>
安芸	矢野	矢野町自主防災連合会	矢野川下流	07066_yanagawa<外部リンク>

広島市ホームページで閲覧できます。



防災ライブカメラ



ライブ映像配信イメージ

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

広島市(各区)

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

● 防災フェアにおける防災教育の実施<西区の場合>

実施日: 令和元年11月24日(日)、令和元年12月8日(日)

実施場所: 広島市立井口小学校グラウンド、広島市立三篠小学校グラウンド

実施内容: 降雨体験、消火訓練、地震体験など



● 防災訓練等による防災教育を実施<西区の場合>

日時	場所	内容
令和元年7月20日~21日	高須小学校	防災キャンプ
令和元年7月27日~28日	古田小学校	防災キャンプ
令和元年8月24日~25日	鈴が峰小学校	防災キャンプ
令和元年11月23日	己斐小学校	己斐学区防災フェスティバル
令和元年11月24日	井口小学校	西区防災訓練・防災フェア
令和元年12月8日	三篠小学校	三篠小学校指定避難所運営訓練(防災フェア)

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

府中町

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

● 小学校区に住む住民を対象とした防災訓練の実施

実施日：令和元年12月14日（土）

実施場所：府中東小学校体育館・グラウンド

実施内容：ハザードマップ、避難訓練、降雨体験、災害救助犬の訓練見学、陸上自衛隊等のブース
展示等



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

広島県

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

(広島県)

- 令和元年度は洪水等に関する出前講座を12回実施。
- 令和2年度も引き続き要望に応じて実施予定。

【R元洪水等に関する出前講座実績】

実施日	学校名等	場所
5/21(火)	近大附属広島中学校東広島校	東広島市
5/30(木)	安浦小学校	呉市
6/3(月)	白木中学校	広島市安佐北区
6/4(火)	本地小学校	山県郡北広島町
6/10(月)	海田西小学校	安芸郡海田町
6/12(水)	八次中学校	三次市
6/14(金)	原小学校	広島市安佐南区
6/17(月)	中野東小学校	広島市安芸区
7/2(火)	川迫小	山県郡北広島町
10/2(水)	長束小学校	広島市安佐南区
10/30(水)	天応小学校	呉市
11/18(月)	安東小学校	広島市安佐南区



広島県の出前講座の様子

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

● 広島地方気象台にて気象防災ワークショップを実施

実施日：令和元年9月4日(水)、11日(水)

実施場所：広島地方気象台

実施内容：市町の防災担当者を対象に気象防災情報の利活用に関する説明及び気象防災ワークショップ(防災対応の疑似体験)を実施



● 依頼のあった機関への出前講座

気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨、その時どうする？」の開催

・・・府中町防災担当者(府中町依頼)、広島市の学校教員(広島市教育委員会依頼)

気象、地震等に関する出前講座・・・小中学校、公民館、児童館、公共機関など



● 気象記念日イベント

実施日：令和元年6月2日(日)10:00～16:00

会場：広島市江波山気象館



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

【防災フェア実施概要】

開催日：令和元年7月6日（土）、場 所：エディオンスタジアム

イベント実施状況



平成30年7月豪雨から一年を迎えるにあたりサンフレッチェ広島協力のもと、令和元年7月6日（土）にエディオンスタジアムで防災意識啓発イベントを開催。防災イベントでは、ゲリラ豪雨を体験できる「降雨体験機」を展示し、豪雨時の状況を疑似体験して頂いた。

また、7月豪雨災害の状況やXRAINなどの防災情報、TEC-FORCE活動10年を紹介するパネル展示を行い防災の啓発を実施した。



降雨体験の状況



パネル展示

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 防災教育や防災知識の普及

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

【1日TEC-FORCE隊長(防災啓発イベント)概要】

開催日: 令和元年11月11日(月)、場所: 白島小学校、主催: 太田川河川事務所

イベント実施状況



令和元年11月11日(月)に「土木の日記念行事」の一環としてサンフレッチェ 広島、森島 浩司 アンバサダー を1日TEC-FORCE隊長として、白島小学校で防災学習を行った。

4年生87人が台風19号でのTEC-FORCEの活動状況、平成30年7月豪雨災害状況、太田川放水路の歴史の話、ドローンの飛行実演、防災キックターゲットなどを体験し、森島 1日TEC-FORCE隊長から災害に備える大切さを呼びかけてもらい生徒と一緒に防災学習を行った。



防災キックターゲット



ドローン飛行実演



防災学習状況

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

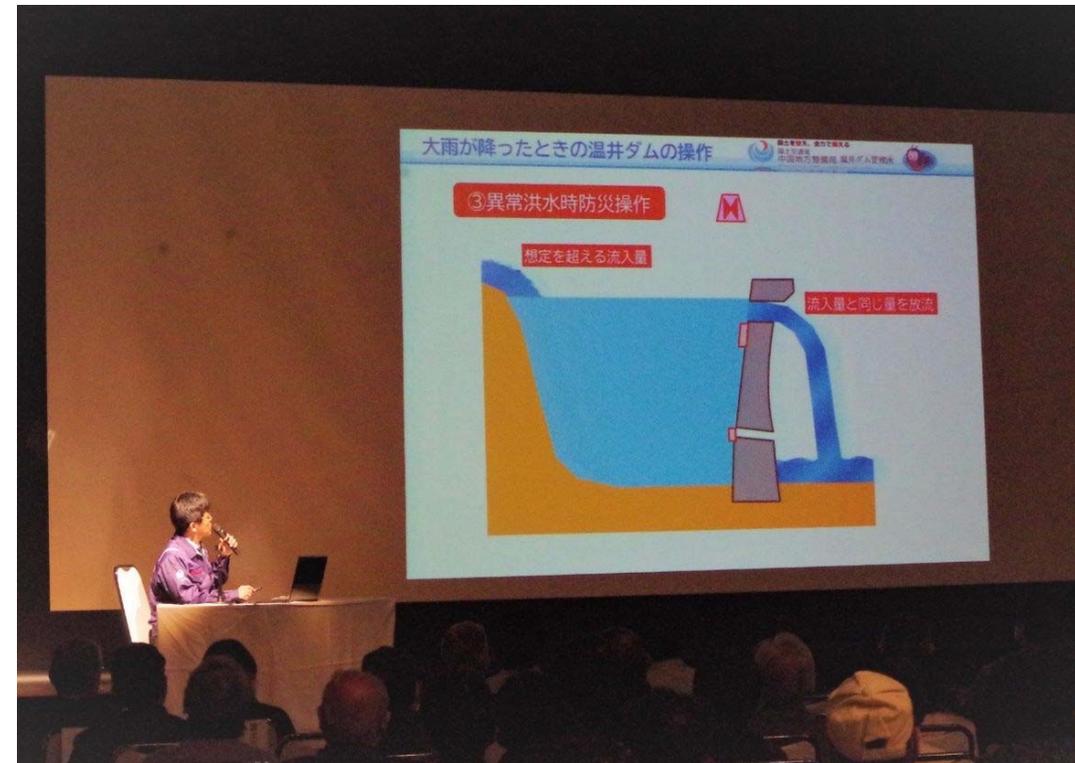
中国地整

○ 出前講座等を活用した防災教育の実施

地域の小学校が学校の行事等としてダム見学を行う場合に加え、下流地区の自主防災会議等でダムの役割・効果やダム操作と放流警報等について職員が説明を行った。



令和元年11月7日 川北地区自主防災会議



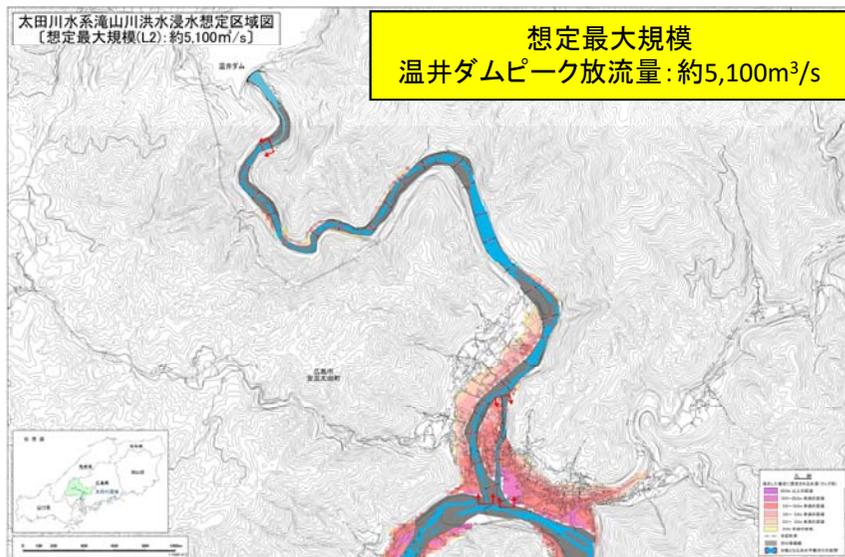
令和2年2月22日 安芸太田町防災シンポジウム

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報の提供

温井ダム下流の住民等に対して、ダムの特徴や限界を正しく理解しダム操作を踏まえた防災行動を的確に実行するための情報として、温井ダム放流量毎の洪水浸水図を作成。



②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

広島市(中区、西区、安佐南区)
安芸太田町、中国地整

○防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設検討

広島市(中区):検討中
広島市(西区):検討中
広島市(安佐南区):検討中

安芸太田町:検討中

太田川河川事務所:対象施設なし。(想定最大規模降雨時の洪水で、災害対策室が浸水しないため。)



②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■水防活動の効率化および水防体制の強化

広島市(各区)

○水防管理者等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

<広島市>

○令和年度広島市災害対策本部運営図上訓練

実施日:令和元年5月10日(金)

訓練参加者:広島市職員(各区含)、消防局、広島県、中国地方整備局

実施内容:<第1部訓練(直前対策)>

各区と連携して、避難情報の発信、上位体制への移行、避難所開設状況の確認等を行った。

<第2部訓練(初動対策)>

災害初動期の断片的で少ない情報と被害想定情報によって、被害を見積もり、応援要請や救援物資の配分計画等を判断。また、本部員会議の開催準備に取り組んだ。



統制班・検討班・情報班
(情報の収集・整理・分析・情報発信等)



総務班・集計班・広報班
(本部員会議資料作成・避難集計・災害広報等)



監視班
(雨量・水位情報・潮位情報の監視等)



各区等担当班・各局等担当班
(局施設・区の被害収集・応急対策等)

<各区>

○令和元年度区災害対策本部運営図上訓練

実施日:令和元年5月20日～6月6日までの間に各区1回

訓練参加者:各区災害対策本部事務局運営要員

実施内容:風水害による被害を想定した情報収集・分析・対応方針策定訓練等を実施した。

②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■水防活動の効率化および水防体制の強化

中国地整

○水防管理者等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

<中国地整>

○風水害対策訓練

実施日：令和元4月24日(水)

実施場所：太田川河川事務所(5階災害対策室)

参加者：中国地方整備局、太田川河川事務所職員、その他機関

実施内容：災害情報の収集・伝達の手段・方法・伝達系統等、災害対応に必要な基本的事項の確認をした。



○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

広島県、中国地整

<広島県>

備蓄水防資機材情報については、水防連絡会において情報共有。

非常時における相互支援については、「中国地方における災害時の支援に関する申し合わせ」により実施。

<太田川河川事務所>

令和元年5月24日(金)に開催した太田川水防連絡会で確認している。

<温井ダム管理所>

毎年、出水期前に通警報説明会を実施。(関係機関と伝達手段や内容を再確認する)



太田川水防連絡会開催状況

②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動

広島市(関係区)、中国地整

■水防活動の効率化および水防体制の強化

○太田川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について水防管理者等や地域住民が参加する合同点検の実施

<中区>

実施日:令和元年5月29日(水)

参加機関:太田川河川事務所、広島県西部建設事務所、広島市下水道局、
中区役所、中消防署、中消防団、中央警察署

実施内容:旧太田川堤防等の危険箇所について、事前研修及び現地確認を行った。



<東区>

実施日:令和元年5月10日(金)

参加機関:東区役所、東消防署、東消防団、東警察署 (参加人数:20名)

実施内容:重要水防箇所を関係機関と合同で点検した。

<西区>

実施日:令和元年5月31日(金)

参加機関:太田川河川事務所己斐出張所、西区役所、西消防署、西消防団

実施内容:水防上重要な場所等の合同巡視



<安佐北区>

実施日:平成30年5月8日(月)、参加機関:安佐北消防署、消防団、区役所

実施内容:広島市消防局消防ヘリコプターでの調査、実施内容:水防上危険箇所上空調査

<安佐南区>

実施日:令和元年6月26日(水)、参加機関:太田川河川事務所、安佐南区役所、安佐南消防署

実施内容:太田川・古川重要水防箇所の合同巡視

<佐伯区>

実施日:令和元年5月30日(木)

参加機関:佐伯区役所、佐伯消防署、佐伯消防団、佐伯警察署 (参加人数:26名)

実施内容:佐伯区内の水防危険箇所の巡視

②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動

広島市(各区)

■水防活動の効率化および水防体制の強化

○リアリティのある水防訓練の実施

実施日: 令和元年5月26日(日)

場所: 南千田西グラウンド

参加機関: 中区自主防災組織、中消防団、中区役所、中消防署、中央警察署

内容: 出水期前に、基礎的な工法を学び防災意識の高揚及び防災体制の強化を図った。

実施日: 令和元年5月29日(日)

場所: 西部消防訓練場

参加機関: 西消防団、西区役所、西消防署

内容: 水防活動時の安全管理研修・警防活動要領の確認、土のうづくり、水防工法、土砂災害対応訓練

実施日: 令和元年6月2日(日)

場所: 佐伯消防署及び湯来中学校

参加機関: 佐伯区自主防災組織、佐伯消防団、佐伯区役所、佐伯消防署、佐伯警察署

内容: 出水期前に、基礎的な工法を学び防災意識の高揚及び防災体制の強化を図った。

実施日: 令和元年6月16日(日)

参加機関: 南消防署、南区役所、南消防団、南区自主防災会

内容: 出水期前に土砂崩れや河川の氾濫等による被害を食い止めるための水防工法を実施した。



②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
■水防活動の効率化および水防体制の強化

府中町

○リアリティのある水防訓練の実施

水防工法合同訓練

実施日：令和元年5月28日 場所：空城山公園グラウンド

参加機関：自主防災組織、消防団、自衛隊、府中町(役場職員、消防職員)

出水期前に、基礎的な工法を学び防災意識の高揚及び防災体制の強化を図った。



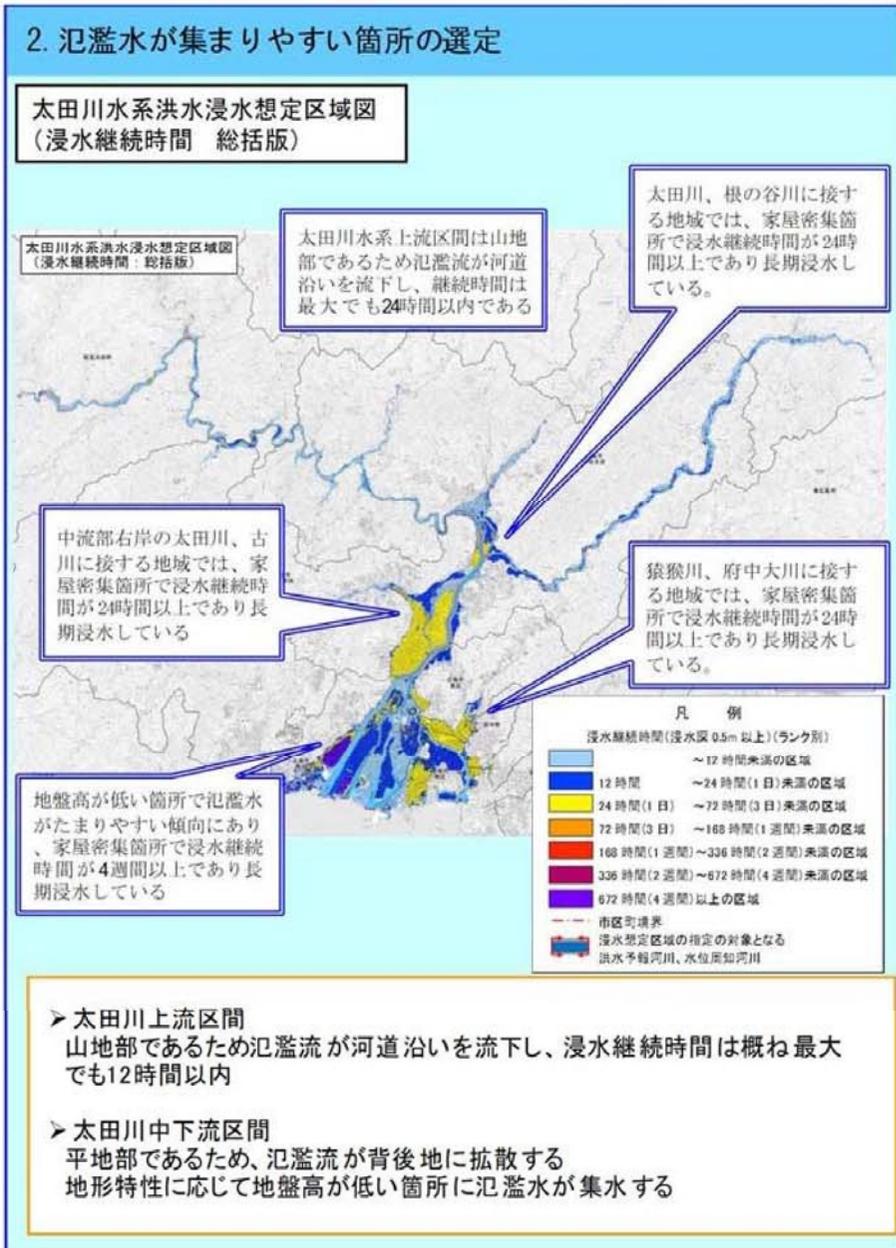
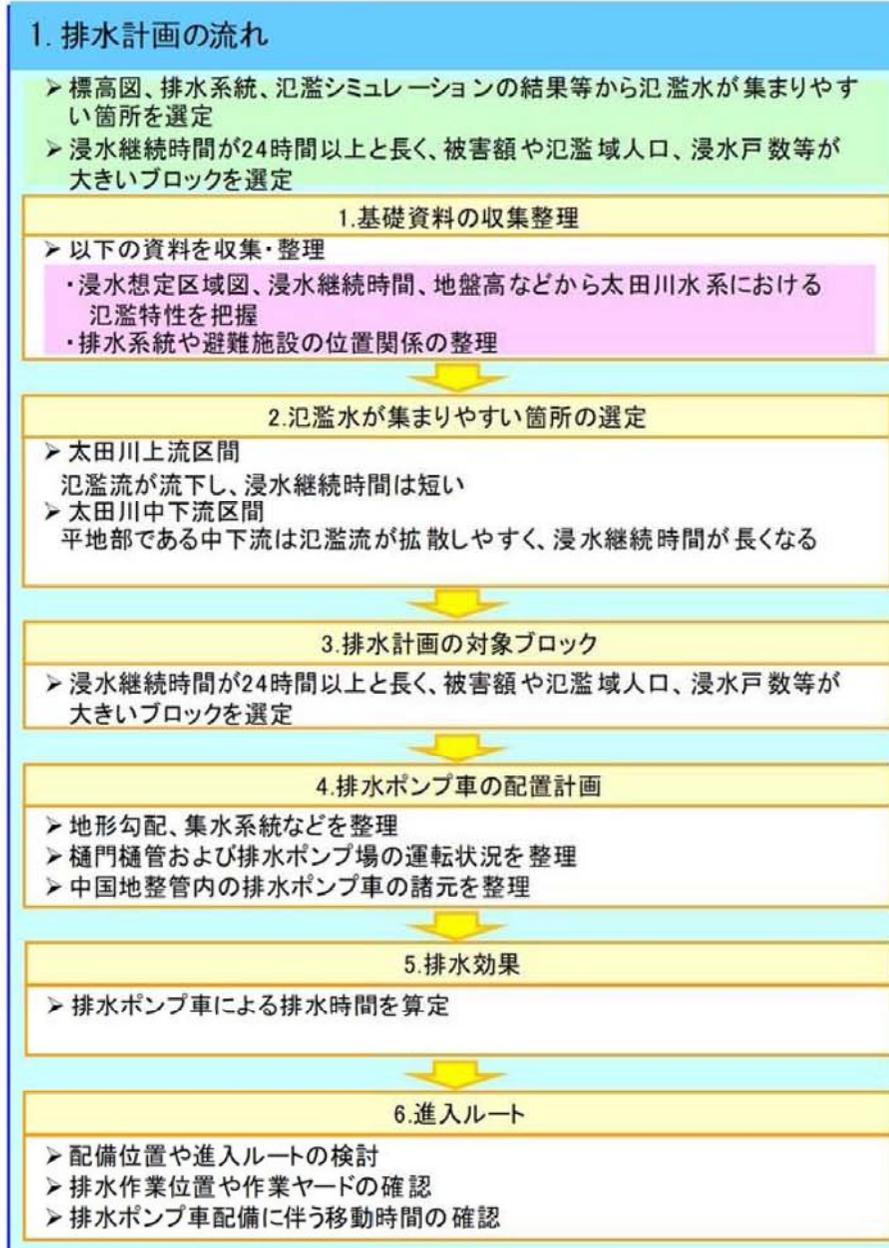
③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水計画の作成及び排水訓練の実施

令和元年度完了

中国地整

○排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成



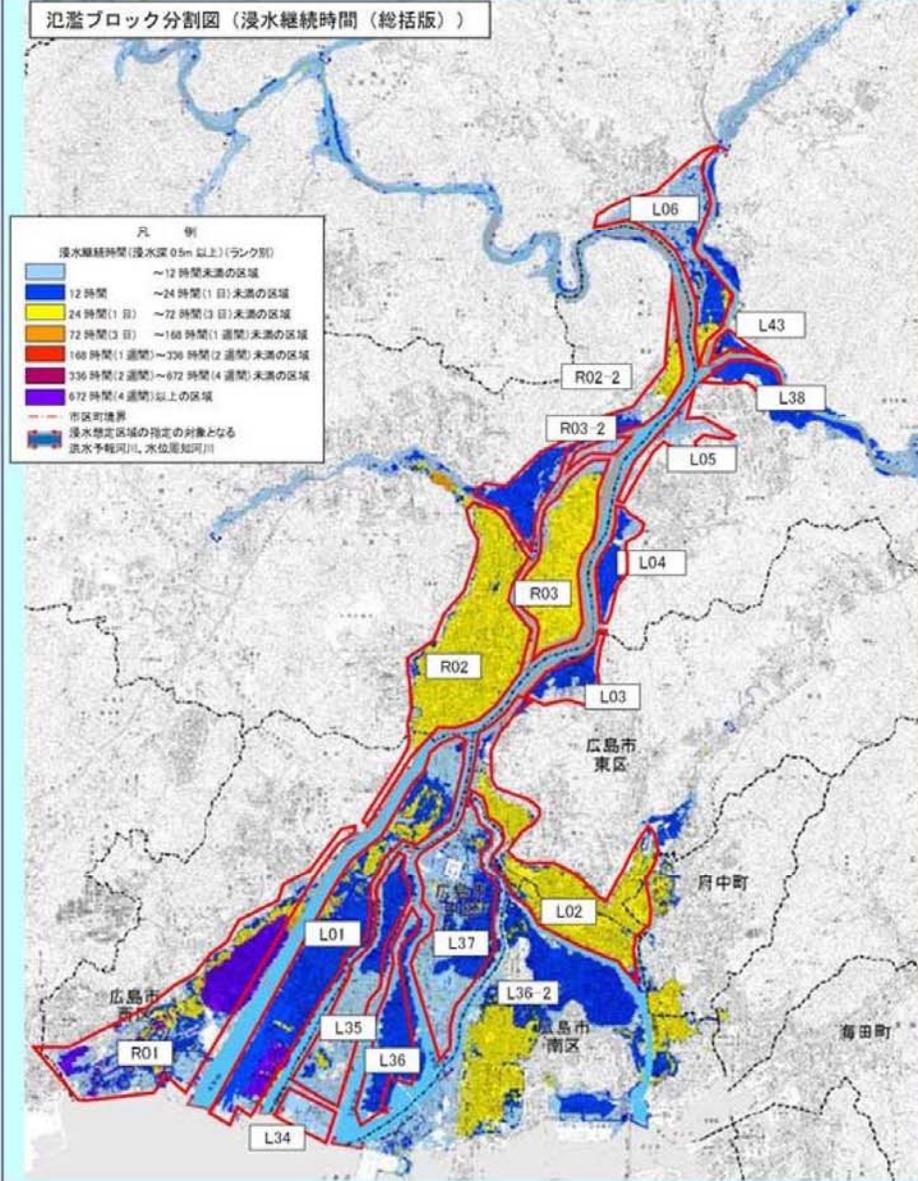
③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策
 ■排水計画の作成及び排水訓練の実施

令和元年度完了

中国地整

○排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成

3. 排水計画の対象ブロック



対象ブロック選定表

ブロック名	位置	市区町区	浸水継続時間	被害額 (百万円)	汎濫面積 (km ²)	汎濫域人口 (人)	浸水戸数 (戸)	選定	選定候補に挙げた理由
R01	太田川右岸	広島市西区	4週間以上	60,333	1.39	20,528	9,767	選定	浸水継続時間が4週間以上と非常に長い
R02	太田川右岸・古川右岸	広島市安佐南区	72時間未満	1,950,068	6.53	67,381	31,237	選定	浸水継続時間が72時間以上と長く、被害額や汎濫域人口、浸水戸数等も大きい
R03	太田川右岸・古川左岸	広島市安佐南区	72時間未満	860,733	3.37	32,905	12,996	選定	浸水継続時間が72時間以上と長く、被害額や汎濫域人口、浸水戸数等も大きい
R03-2	太田川右岸・古川左岸	広島市安佐南区	12時間未満	54,494	0.30	1,248	493		
R02-2	太田川右岸・古川右岸	広島市安佐南区	72時間未満	1,481,045	3.13	24,194	9,533	選定	浸水継続時間が72時間以上と長く、隣接するR02との関係も考慮して選定
L01	太田川左岸・天満川右岸・旧太田川右岸	広島市西区	4週間以上	2,163,789	6.79	68,366	38,257		浸水継続時間が4週間以上と非常に長い。長期浸水エリアは企業の工場区画であり、人命優先の観点から対象ブロックには含めない
L34	天満川左岸	広島市中区	12時間未満	-	-	-	-		
L35	天満川左岸・旧太田川右岸	広島市中区	72時間未満	1,274,252	3.13	49,002	27,584		長期浸水エリア（24時間以上）が狭いため、対象ブロックには含めない
L36	旧太田川左岸・元安川右岸	広島市中区	24時間未満	599,017	2.17	24,590	11,661		
L36-2	京橋川左岸	広島市南区	72時間未満	-	-	-	-		長期浸水エリア（24時間以上）が狭いため、対象ブロックには含めない
L37	元安川左岸・旧太田川左岸・京橋川右岸	広島市中区	24時間未満	2,690,963	5.10	53,266	31,816		
L02	狭間川左岸・旧太田川左岸・太田川左岸	広島市東区、府中町	72時間未満	1,828,903	7.86	73,745	34,976	選定	浸水継続時間が72時間以上と長く、被害額や汎濫域人口、浸水戸数等も大きい
L03	太田川左岸	広島市東区	24時間未満	245,747	0.90	10,574	4,306		
L04	太田川左岸	広島市安佐北区	24時間未満	147,409	0.78	5,615	2,132		
L05	太田川左岸	広島市安佐北区	12時間未満	161,980	0.64	3,725	1,548		
L38	三穂川左岸	広島市安佐北区	24時間未満	374,277	0.53	2,646	959		
L43	根谷川左岸・三穂川右岸	広島市安佐北区	72時間未満	204,889	0.26	908	367		長期浸水エリア（24時間以上）が狭いため、対象ブロックには含めない
L06	太田川左岸・根谷川右岸	広島市安佐北区	72時間未満	2,947,118	2.99	13,850	5,790	選定	浸水継続時間が72時間以上と長く、被害額や汎濫域人口、浸水戸数等も大きい

※ 浸水継続時間が4週間以上
 ※ 同24時間以上72時間未満
 ※ 同12時間以上24時間未満
 ※ 同12時間未満
 ※ 被害額等が上位5位まで
 ※ L34、L36-2は危険箇所が設定されていないため、被害額等は算出されていない。
 ※ 計画作成が必要な箇所の選定候補

③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水計画の作成及び排水訓練の実施

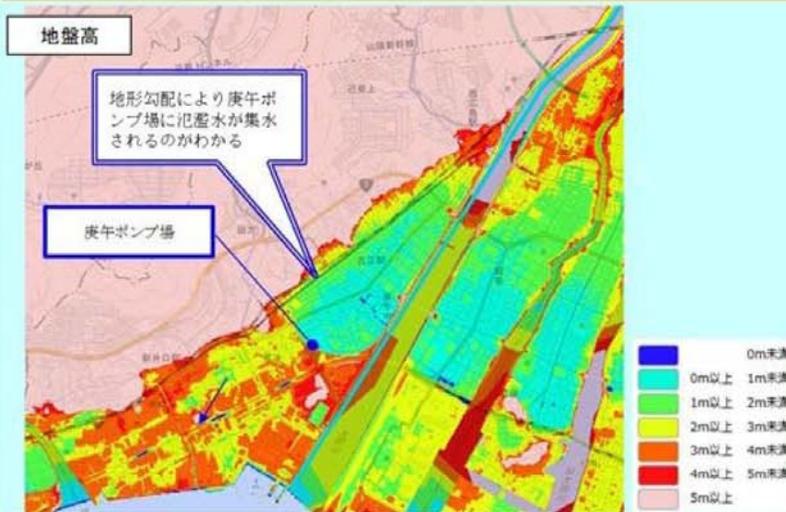
令和元年度完了

中国地整

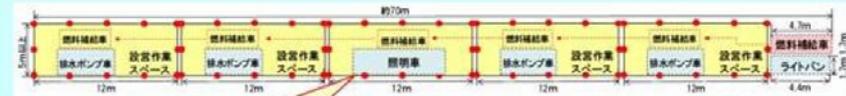
○排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成

4. 排水ポンプ車の配置計画

➤ 地形勾配、水路網をふまえると、庚午ポンプ場に排水ポンプ車を配置することが効果的



庚午ポンプ場の排水エリア（想定最大規模における最大浸水深（R2.8k破堤））



③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

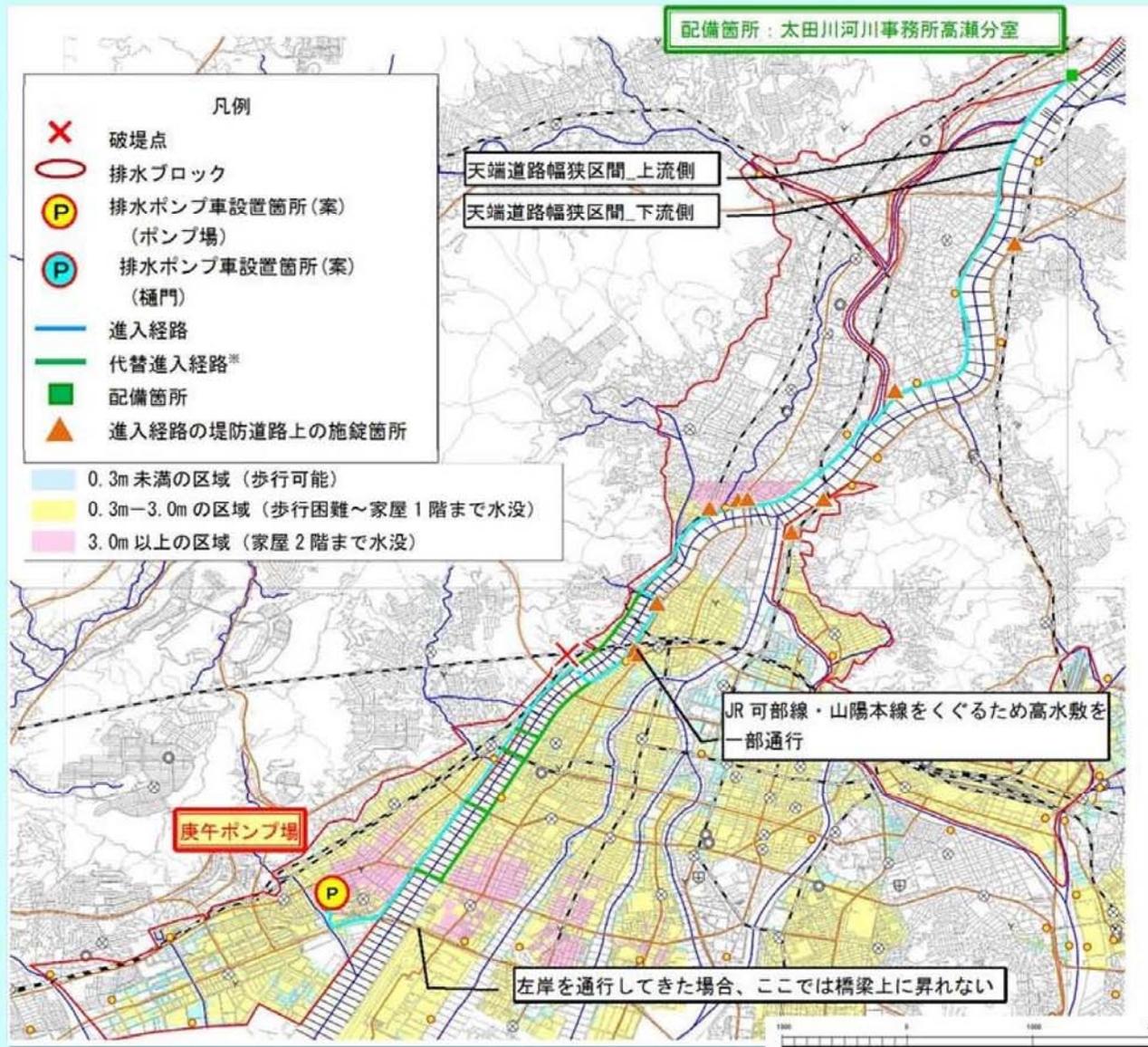
■排水計画の作成及び排水訓練の実施

令和元年度完了

中国地整

○排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成

5. 進入ルート



④温井ダムの効果的・効率的な運用

中国地整

●下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等による更なる効果的・効率的な運用を実施

○事前放流及び特別防災操作(適応操作)を的確に実施し、下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等により更なる効果的・効率的な運用を実施

【H19年度より事前放流を運用中、H25年度より特別防災操作(適応操作)を運用中:中国地整】

事前放流とは・・・

ダムの計画規模以上の大きな出水が予測される場合に、利水容量の一部を治水容量として有効に活用する操作

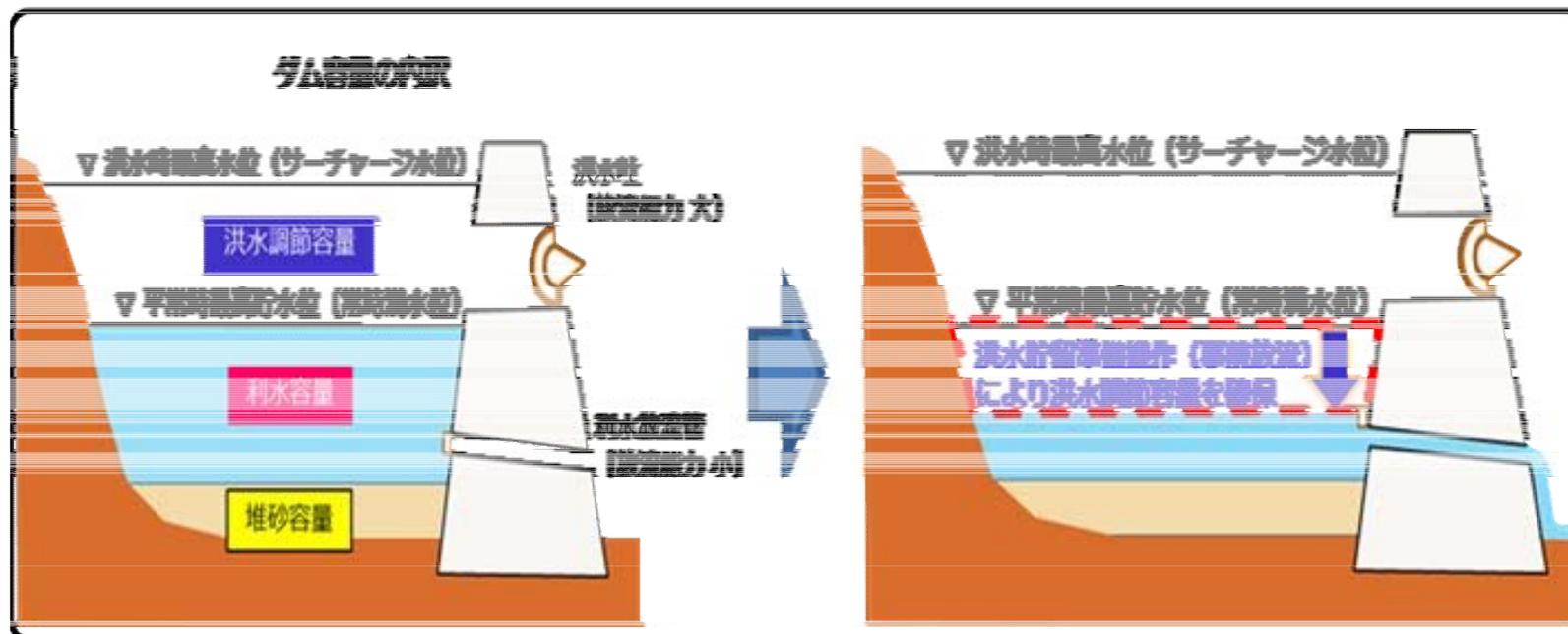
○温井ダムでは、異常洪水に備えて平成19年度から事前放流の運用を開始

○台風による洪水が予想される場合に、事前に放流し洪水調節に使用できる容量を増加させる

事前放流の放流量

今後起こると想定される洪水により、ダムに貯留される量(推定)

→実績の累加雨量と予測雨量から事前放流実施を判断



④温井ダムの効果的・効率的な運用

●事前放流及び特別防災操作(適応操作)を的確に実施

【H25年度より特別防災操作(適応操作)を運用中】

特別防災操作(適応操作)とは..
下流の被害を軽減するため、ダム下流の水位状況に応じて、今後の降雨量を勘案しながらダムの残貯水量を有効に活用し、放流量を規定より減じる操作。

- 特別防災操作(適応操作移行)への判断基準**
- ①下流河川管理者等からの要請
 - ②下流河川の基準点水位
 - ③次の洪水発生の予測
 - ④現洪水見通し(雨量ピーク時点)予測
 - ⑤貯められる容量>今後予測されるダム貯留量(相当雨量により比較)

操作の体系化
ゲートを有する各ダムにおいて「操作要領」を定めて操作を実施



飯室観測所付近 (7月6日8時20分 水位2.95m)

温井ダムでの事例(平成30年7月6日実績)

